

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	東消防署管理事業			会計	款	項目	大事	小事	
				01	09	01	01	06	03
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	東消防署				
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	鈴木 孝男				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	東消防署	意図	東消防署職員及び消防施設の充実強化を図る。
事業内容	市民生活における、安心・安全を守る拠点である東消防署庁舎の施設、設備及び車両の維持管理を行う。			
事業開始から現在までの状況変化	流山市東部地域の防災・救急の拠点施設として、市民の方々が安心して住める街づくりを維持するため、消防力の充実強化はもとより、消防行政の進展に取り組んでいる。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	車両点検回数	10	10	10	回	→→
②	庁舎の保守及び修理回数	39	46	45	回	→→	
③	車両運用件数（消防車両2台）	1,057	1,356	1,361	件	→→	
④	車両運用件数（救急車1台）	1,509	1,572	1,642	件	→→	
⑤							
⑥							
指標で表すことができない定性的な成果	消防・救急車両及び消防資機材の定期的な点検整備を実施し、多種多様化する災害に対し、安全・確実・迅速に活動することが出来る。			目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 市民の安心・安全を守るため、庁舎、車両、資機材等を適正な維持管理及び整備しておく必要がある。長時間の使用及び使用頻度の多さから故障等が発生しているが、経費の節減・削減に努めなければならない。			
事務事業のコスト	平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)	81,552,346	86,787,000	85,244,000				
事業費(b)(円)	6,037,346	6,243,000	6,140,000				
うち一般財源	6,037,346	6,243,000	6,140,000				
職員給与費(c)(円)	75,515,000	80,544,000	79,104,000				
人役・職員(人)	11.00	12.00	12.00				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	C 対象が広すぎる
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	流山市東部地域の防災拠点施設として、庁舎、車両及び資機材等の適切な維持管理を行うとともに経費削減に努める。	③取組における課題(Check)	当署は、昭和63年3月に建設され30年経過しており、経年劣化により適切な維持管理に困難を要するようになりつつある。
②H30に実施した取組(Do)	定期的に庁舎点検を行い、大規模な修理が必要とされる前に、適宜修繕し、1年でも長く使用できるように努めた。	④課題に対する今後(H31~)の改善計画(Action)	庁舎の定期点検で確認された不良箇所を長く使用することが出来るよう早急に修理を実施する。